



近鉄百貨店

第129期 中間報告書

2022年3月1日～2022年8月31日

©Hummy

株主の皆様へ

[Top Message](#)

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(2022年3月1日から2022年8月31日まで)の百貨店業界は、前年の緊急事態宣言下における休業の反動と、行動制限の緩和による外出機会の増加により、消費マインドの回復がみられました。しかしながらインバウンドは、政府による水際対策緩和等で増加しつつあるものの、ピーク時と比較すると依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは「中期経営計画(2021-2024年度)」に基づき、これまで実施してきた構造改革をさらに加速させるとともに、新たなビジネスモデルの構築に取り組みしました。

この結果、下部「決算ハイライト」に記載のとおり、3年ぶりに経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益で黒字化いたしました。

下半期につきましても、あべのハルカス近鉄本店の改革推進、郊外店における「タウンセンター化」のさらなる推進、FC事業の強化および拡大等により、業績の改善に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

なお、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、新型コロナウイルス感染再拡大や、ウクライナ情勢の長期化に伴う原油価格、原材料価格の高騰など景気の先行きは依然として予断を許さない状況であることから、内部留保により財務基盤の強化に努めることといたし、中間配当金の支払いは見送らせていただきたく、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 秋田 拓士

決算ハイライト

売上高

第128期
(前第2四半期)

472億85百万円

第129期
(当第2四半期)

513億60百万円

営業利益

第128期
(前第2四半期)

△14億35百万円

第129期
(当第2四半期)

△1億27百万円

経常利益

第128期
(前第2四半期)

△9億76百万円

第129期
(当第2四半期)

1億75百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益

第128期
(前第2四半期)

△8億81百万円

第129期
(当第2四半期)

4億22百万円

(注) △は損失を示しております。

中期経営計画に基づき新たなビジネスモデルの構築に取り組むため、構造改革をさらに加速させます。

第二弾スクランブルMD 「いもどりマルシェ」

旗艦店あべのハルカス 近鉄本店の魅力最大化



本年9月、ウイング館5階に「スクランブル MD」の第二弾として、「いもどりマルシェ」がオープンしました。年齢に関係なく様々なお客様が目的がなくてもふらっと立ち寄りとなる売場を目指し、百貨店では初となる食のセレクトショップ「きしな屋」を導入したほか、レッグウェアの「ノネット」、観葉植物や食器なども展開するセレクトショップ「エムニプラス」、全国のクラフト雑貨の販売やワークショップを体験できる「ザ・テーブル」など個性豊かなショップがご好評を得ており、売上も好調に推移しています。従来のアパレルだけでなく雑貨やフードを含めた「スクランブル MD」の売場として、アイテムやブランドの枠を超えたライフスタイルの価値を提案します。売場内のイベントスペースでは今後も、食・コスメ・アートなど多彩なイベントを週替わりで開催。コミュニティスペースでは食に関する体験型イベントや日替わりでのワークショップを実施してまいります。他のフロアでも引き続き新しい視点や発想での改装を継続してまいります。



菓子売場リニューアル



タワー館地下1階の菓子売場では、旬を取り込んだ賑やかなデパ地下をお楽しみいただくため、「西日本初」となる「ザ・マスター-byバターバター」や、「あげもち cocoro」など5店舗を開業しました。



大北海道展 北海道の物産と観光展

10月にハルカスでは3年ぶりとなる
大北海道展を開催

本年はコロナ禍の影響により開催することができなかった集客催事を再開することができました。特に、3年ぶりに開催した人気の高い大北海道展では、お弁当やお菓子の販売に加えイトインも実施し、ご来場いただいたお客様だけでなく、生産者や事業者にも喜んでいただけるイベントとなり、当初の予想を上回る来店客数と売上を達成しました。今後も引き続きお客様に求められる催事を随時開催してまいります。



集客催事再開



高収益事業のさらなる強化へ

FC事業

FC事業では新業態のフルーツカフェ「フルフルール」の第一号店をあべのハルカス近鉄本店12階「あべのハルカスダイニング」にオープンしました。「旬のフルーツを一番美味しいタイミングで提供すること」にこだわり、時季に合わせた旬のフルーツだけを厳選し、提携企業の契約農家から独自の物流ネットワークでお客様に提供しています。「フルフルール」は近鉄百貨店各店への展開も予定しており、11月2日には奈良店に二号店をオープンしました。また、奈良店では同時に新業種としてライフスタイル雑貨ショップ「ハンプティードンプティー」を開業し、FC事業は全16業種47店舗まで拡大しました。今後も事業の強化に積極的に取り組み、2022年度には150億円の売上を目指してまいります。



新業態のフルーツカフェ 「フルフルール」

奈良店タウンセンター化進む



「奈良店 大幅改装!」

今秋に奈良店を大改装しました。食料品フロアでは、地域色を大切に「大和路ショップ」を拡張することにより、惣菜ゾーンの取り扱い商材を充実させました。また、2階のファッションフロアでは、「どさんこプラザ」、「ハンプティードンプティー」など新ショップを組合せ、フロア全体での「スクランブルMD」を実施したほか、上層階では大型家電専門店「ケースデンキ」を導入するなど、今後も地域の暮らしに欠かせない奈良店を目指してまいります。

ESGに関する取組み



当社は「豊かで持続可能な社会」の実現のために策定したESG方針に基づき、さまざまな取組みを行っております。あべのハルカス近鉄本店では、近畿大学の学生がリユース可能な材料で作ったアート作品を展示、販売する「近大アートマルシェ」を開催しました。今後も地球環境への貢献や地域共創の取組みについて、従来の百貨店事業の枠を超えた発想とチャレンジを続け、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

エコで、地球にハッピーなこと。「ハピエコウィーク」

「近大アートマルシェ」を開催!



株主様ご優待制度

株主様ご優待制度が、もっと便利になりました！

株主様の利便性およびサービスの向上を図るため、2021年12月から、以下のとおり株主優待制度の一部を変更いたしました。

現金、百貨店商品券に加えて
キャッシュレス決済※がご利用可能に！

※KIPSクレジットカード、近鉄クレジット(外商)カード、
スマートフォン決済、電子マネーに限る。

ご優待クーポン券がもっとおトクに！

- レストラン街ご優待券：割引率が5%→10%、枚数が5枚→10枚に
 - 無料駐車1時間延長券：ご利用可能店舗が全店※に拡大、枚数が2枚→5枚に
- ※東大阪店、名古屋店を除く。

2月末日および8月31日現在の株主様に対し、「株主様お買物優待カード」および「株主様ご優待クーポン券」を発行いたします。

株主様お買物優待カード

商品のお買上げの際、その本体価格の10%(CD・DVD、書籍等は5%)を割引させていただきます。

※一部割引対象外の売場、商品がございます。



株主様ご優待クーポン券

近鉄百貨店レストラン街ご優待券、無料駐車1時間延長券など、近鉄百貨店での特典に加え、あべのハルカス展望台「ハルカス300」入場ご優待券など近鉄グループでもご利用いただける優待券です。



詳細やその他の注意事項については、当社ホームページにてご案内しております。



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎事業年度の末日の翌日から3カ月以内
基準日	○定時株主総会権利行使株主確定日：2月末日 ○期末配当金受領株主確定日：2月末日 ○中間配当金受領株主確定日：8月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告 https://www.d-kintetsu.co.jp/corporate/koukoku/index.html 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	8244
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座の口座管理機関)
(同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL：0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

1. 証券会社に口座をお持ちの株主様は、株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設された証券会社にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する住所変更、単元未満株式の買取・増請求などのお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社の全国本支店でお支払いいたします。

特別口座に記録された株式をお持ちの株主様へ

特別口座は証券会社の口座とは異なり、株式を売買することはできません。売買等のお取引を希望される株主様は、証券会社に口座を開設いただき、特別口座から証券会社の口座に株式の振替請求をしていただきますようお願いいたします。

【免責条項】

本報告書に記載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって、異なる可能性があることをご承知おきください。



電子提供制度適用後の株主総会資料に関する当社の当面の方針について

会社法の改正に伴い、2022年9月1日に株主総会資料(法定の株主総会参考書類等をいいます。)の電子提供制度が導入されました。

電子提供制度とは、株主総会資料を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主様に対し当該ウェブサイトのアドレス等を書面で通知する方法により、株主様に対して株主総会資料を提供することができる制度です。

電子提供制度は、上場会社に対して強制適用されることから、当社では、2023年3月以降に開催される株主総会から電子提供制度が適用されます。

同制度によれば、株主様にお届けする書面は、簡易な招集通知(株主

総会資料をウェブサイトに掲載したことおよびウェブサイトのアドレス等を記載したお知らせ)のみで足りることとなり、株主総会資料を書面で受領したい株主様は、株主総会の基準日までに、口座を開設している証券会社または株主名簿管理人を通じて「書面交付請求」のお手続きをお取りいただく必要があります。

ただし当社は、株主様への情報ご提供を重視し、当面は「書面交付請求」の有無にかかわらず、従来と同様に株主総会資料や議決権行使書を書面でお届けする方針です。なお、このような当面の対応を終了し、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただいた株主様に限り書面交付を行う際には、事前に株主様へお知らせいたします。

電子提供制度に関する
お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

【電子提供制度
専用ダイヤル】

0120-696-505

受付 土・日・祝日等を除く
時間 平日9:00~17:00

<https://www.tr.mufig.jp/daikou/denshi.html>

